

様式4

学校番号 (中 15) 学校名 (光が丘第一中学校) 教科名 (国 語)

指 導 技 術		観 点 別 の 授 業 改 善 の 視 点				
教師の指導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等)		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	話す聞く能力を向上させるための手だて	書く能力を向上させるための手だて	読む能力を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導 入	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始と同時に、授業を受ける姿勢をもたせるようにする。 前時を振り返りつつ、本時の目標と流れを黒板に記入し、明確にする。 チャイム学習「漢字と語句」「ミニ読書」で言語事項に関する知識・技能の習得やミニ読書による語彙力・感性・思考力の育成を継続的に行い、自学自習の習慣化を促し、自己教育力、自己評価力、生涯学習力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の日常生活に関連した話題を用いての導入を行い、学習への動機付けを図る。 生徒の興味関心に配慮し、適切な話題を提供する努力をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ディベートやディスカッションなど、話し合いの形式について理解する。 評価規準、場面を明示する。 前時までの学習の進行状況や成果を発表し、話し合い確かめ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く活動のモデルを具体的に示す。 チャイム学習のミニ読書の要約、感想の記述を通して、表現技能や技法、語句・語彙の習得、文体の体得、文章構成や文章展開上の知識の習得を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ミニ読書で多様な文種の主題や主張に触れ、ものの見方や感じ方、考え方を広げ、深めさせるとともに読書習慣を付けさせる。 文学に対する知識を持たせ、読んでみようとする意欲を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活との関連化により、学習の必然性を意識させる。 読み書きに関する単純な繰り返しを徹底させる。 日本語の歴史などに触れながら、日本語に対する興味を引き出す。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な発問の準備と評価の規準を準備して臨む。 ノートを有効活用させ、授業時の記録を徹底指導し、メモ欄の活用で聞き取り、聞き分ける力を養い、学習における主体性・自主性を養う。またノートに自分の考えをまとめ、意見発表などにも活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート等の形成的評価をこまめに行う。 日本の文化や歴史に関連した話題や視覚教材などを用意し、国語に対する興味関心を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の準備段階において評価規準に照らした個別指導を行う。 小集団内での話し合いや討議を活発にし、学習を深め合い、高め合う言語活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導等により各生徒の学習状況を把握し、個別に支援する。 相手意識・目的意識を明確にした表現力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読・朗読・群読・暗唱を効果的に取り入れ、文学的文章の読解力・鑑賞力の向上を図る。 読みながら自己の考えや意見をまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 演習の場面を多く取り入れ技能の習得を図る。 自分の中での発見を重視し、達成感、成就感をもたせられるように工夫する。
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返らせる上での複数の視点を設定する。 進んで意見を発表できる雰囲気作りをする。 評価シートで学習の成果を確認し、自己評価や相互評価を活用して次時の目標を設定する。 他の生徒の意見をノートにまとめさせ、自分の考えを広めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習事項の反復練習や課題意識とその追究の機会と場を設定、紹介し、学習活動の達成感・成就感の体得を支援し、自己評価力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す聞く活動の価値について考えさせる。 本時の学習の流れを振り返り、相互に評価する発言を聞き合い、評価し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を紹介し、それについての感想を交流する。 説明的文章の要約や文学的文章の感想、取り立て指導における作品の交流、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シートを振り合えり文章の特徴を捉える。 発展教材や比較教材を用いて読書意欲を喚起しつつ、推薦図書を紹介を始めとする日常の読書生活を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードを活用して学習の成果と今後の課題について詳述させる。 漢字と語句や資料集から出題する確認テストで家庭学習の習慣化と充実を図る。